

秀峰通信『啐啄』

No 1 7 平成23年7月25日(月)

第1回産業教育振興会小林・西諸県地区連絡が開催されました。・・・15日(金)午後

○高原高校、飯野高校、本校の3校と企業側から4名の会員代表が出席して、県西地区の高校生の就職状況等について熱心に話し合われました。大震災の影響も大きく、本年度の就職戦線は昨年度以上に厳しいことを認識し、就職内定に向け、努力していくことを確認しました。また、生徒たちの活動を紹介する試みとして



えびの異業種交流会(8月22日)やロータリークラブの会合等で、生徒の研究発表をさせてもらうという取組を本年度は新たに計画することになりました。企業にお願いして振興会員を増やす努力をしていくことにもなりました。

学校茶道「夏の茶会」(小林地区)が行なわれました。・・・17日(日)

○小林市社会福祉センター2階で、午前10時から午後2時までありました。本校茶道同好会11名と小林高校生、高原高校生が参加したお茶会でした。お運びは飯野地区の幼稚園生が勤め、女の子も男の子も一生懸命にお茶を運んでいる姿がとても可愛らしかったです。茶道は日本の伝統・文化の一つですが、なかなかふれる機会は少ないようです。同好会の活動を活発化し、できるだけ多くの秀峰生に、茶道を経験してほしいと思います。文化祭の時には、ぜひ、お茶をいただいでください。



秀峰生がお点前を披露しました



幼稚園生がお運びをしました



水屋で小林高校生と一緒に待機

なでしこジャパン 見事 Wカップ初優勝!・・・18日(月)朝



撫子(なでしこ)秋の七草

○世界ランク1位のアメリカと対戦した日本(同4位)は、0-1→1-1で、延長戦になり、1-2とリードされましたが、2-2と追いつき、PK合戦に持ち込みました。アメリカの最初の選手のシュートを日本のGKの素晴らしいプレーで防いだのが、奇跡の始まりでした。これまでアメリカとは21敗3分けて、24回戦って1度も勝ったことのない日本が勝った瞬間を目にし、感動しました。撫子(なでしこ)「なでしこジャパン」のW杯優勝で、一躍有名になった花。花言葉「純愛」「大胆」「勇敢」

主将の澤選手の言葉「苦しいときは、私の背中を見なさい。」

佐々木監督の言葉「我々のプレーは被災者の力になる。」「苦しいときは被災者のことを思って頑張れ。」
To our friends around the world Thank you for your supports (横断幕)

○台風6号の接近に伴い、19日(火)は、臨時休校としましたが、西諸地区は被害が出なくて幸いでした。大雨や台風などの影響が出そうな時には、農業科の先生方は大変です。高原農場の管理のために出向かなければなりません。ビニールハウスや畑、牛舎など、生き物を扱っているので、被害が出ないように対策をすることになります。今回も心配でしたが、台風がそれたので、被害は出なかったようです。これからも猛暑が続いたり、大雨になったり、台風が近付いたりした場合には、農業科の先生方の苦勞を思い、労ってあげてください。＜校内で生産物を販売しています。大いに利用を＞

「自転車乗車中の信号無視・二人乗り・無灯火」などの違反者に対する取り締まりを強化！

○県警察本部から、「自転車の指導取締り強化」についての連絡がありました。上記違反者について、

・警察官の警告に従わない場合 ・交通の危険や迷惑を生じさせた場合

には、「交通切符」（いわゆる赤切符）により、事件として処理されることになったそうです。背景に

・最近の自転車マナーの悪さが指摘 ・歩行者に衝突（接触）するという事故が発生

・自転車側が交通事故の原因（飛び出し・信号無視等）を作る

といったことがあるようです。検挙された場合には、3ヶ月以下の懲役または5万円以下の罰金などがあるそうです。生徒の場合には「少年法」が適用され家庭裁判所での審判が開かれる可能性がある。自転車やバイク、自動車の交通マナーについては、本校が模範となるようにしていきたいものです。

○台風一過の21日（水）・22日（木）の2日間、クラスマッチが行なわれました。生徒会が中心に



サッカー 必死にボールを追う

なって企画・運営し、2日間ともみんなが一生懸命競技し、大いに楽しんだようです。心配された熱中症はありませんでしたが、けが人はいました。学年を越えた試合でも、先輩に負けじとよく頑張っていたようです。

応援にも燃えていて爽やかな2



バスケット プレーボール

日間だったようです。学級の「絆」もきっと深まったでしょう。一学期がしっかり締めくくられました。

九州地区家庭科教育研究協議会が21日（木）・22日（金）、宮崎市で開催されました。



○平成25年度からの新学習指導要領実施に向けてということもあって、県内外から約200名の先生方が参加されました。文部科学省教科調査官の望月昌代氏が、「新学習指導要領の円滑な実施に向けて～平成23年度に取り組む課題を中心に～」と題して、講演されました。食育の推進、家庭科の学習を実際の生活と結び付け、課題解決学習を行なうホームプロジェクトや家庭クラブ活動を一層充実させることなど、家庭科の重要性が話されました。

☆食育の推進では、農業科学科の生産物を利用した調理実習などの紹介もありました。

みんなの笑顔いっぱいの下に、第一学期終業式を行ないました。・・・22日（金）

○終業式の話の中で、特に、次のことを強調しました。心掛けて、夏休みを過ごしてほしいものです。

☆できることと、できないこと ☆やるべきことと、やってはならないことをしっかり判断し、有言実行で一生懸命に打ち込んでいく、そういう高校生活を送ってほしいと思います。夏休みは、計画を立てて過ごすことで、そういう自分を育てていくいい機会です。意識して、頑張っていってほしいものです。（詳細は、HPをご覧ください。）

笑顔が勢ぞろい



バラリー先生離任式



福祉科介護実習宣誓式



○福祉科は来週25日（月）から4日間、10数の施設で初めての介護実習を行ないます。頑張ってくることを代表者が宣誓しました。学科主任からは、「素直、謙虚、積極的に」の話。笑顔を忘れずに実習を。